

BTC NEWS

BTC ニュース

2025年(2) No.139



第8回 浦河高等学校写真部 BTC フォトコンテスト 理事長賞「これだけは譲れない」 松本 怜

2026年春入講
育成調教技術者養成研修

第44期生 募集中



応募資格

- 研修修了後、必ず軽種馬の生産・育成に3年以上携わることのできる者
- 入講時、中学校卒業以上の学歴を有する者
- 厩舎作業及び騎乗訓練を行うのに支障がない者

申込締切

8月1日(金)



CONTENTS

- | | |
|--|---|
| ① た・づ・な..... 1
近年の1歳セリ市場の分析 | ⑤ BTCからのお知らせ①..... 13
第8回浦河高等学校写真部BTCフォトコンテスト |
| ② 海外最新情報..... 4
イギリスとアイルランドの競馬について | ⑥ BTCからのお知らせ②..... 14
BTC短期講習会
(育成技術者養成研修短期講習会)について |
| ③ 競馬の箱馬車..... 8
JRA競馬博物館特別展
「創設30回記念NHKマイルカップ展」 | ⑦ 調査研究..... 16
消化管内寄生虫に対するAAEPガイドラインの要点解説① |
| ④ やさしい育成技術..... 10
セールスレポジトリ提出資料に見られる
所見の競走への影響に関する報告(2) | あとがき..... 20 |

物産アニマルヘルス

動物用医薬品

馬の便秘症における
消化管運動機能低下の改善に
優れた効果を発揮!

馬用消化管運動機能改善剤
指定医薬品 使用基準

プロナミド®E散1%

(モサブリドクエン酸塩水和物)



PRONAMID® E Powder 1%

※詳細は添付文書をご参照ください。

製造販売元
物産アニマルヘルス株式会社
大阪市中央区本町2-5-7
<https://www.bussan-ah.com>

[2023年6月]

FUJIFILM
Value from Innovation

馬用サプリメント
Pure Salacia
ピュアサラシア



サイエンスに裏付けられた腸内環境サポートサプリ

特長

- 1 天然植物サラシアに含まれるサラシノールが、馬の腸内の乳酸菌比率を増加させる※1
- 2 エネルギーの吸収に適した腸内環境に整える※1※2

※1 2016年 日本ウマ科学会にて発表

※2 Jumpertz R et al., Am J Clin Nutr. 94(1):58-65. (2011)

給餌方法

成馬	仔馬
(500kg換算): 8~16 g/日 (かさ目安30~60 mL/日)	(100kg毎): 1.6~3.2 g/日 (かさ目安6~12 mL/日)

- 食餌回数に分けて飼料に混合して与えてください。
- 状態に応じて適宜、給餌量を調整してください。
- 水に溶かしてシリンジで直接与えることも可能です。

■ 名称 馬用サプリメント ピュアサラシア

■ 内容量 480g、240g

【注意事項】 馬以外に使用しないでください。

※ 本製品は(財)競走馬理化学研究所の薬物検査にて問題ないことを確認しています。

□ 本製品についてのお問い合わせは

株式会社 富士フィルムヘルスケアラボラトリー サプリメントグループマテリアル事業チーム
〒164-0012 東京都中野区本町2-46-1 中野坂上サンプライトツインビル14階
TEL:03-6300-6419

詳しい情報は
こちら▶





近年の1歳セリ市場の分析

日本中央競馬会
日高育成牧場 場長
吉田 年伸



〇はじめに

3月からJRA日高育成牧場で場長を務めております吉田です。1993年JRAに入会し、生産地関連では1996年から2年間日高育成牧場、2008年から2年間宮崎育成牧場に勤務してJRA育成馬（以前は抽せん馬）の育成調教の経験をしています。特に初任地の美浦トレセン競走馬診療所から初めてとなる（まさかの）転勤だった日高育成牧場では、現在の事務所・研究棟の竣工や、新しい施設（800m屋内トラック、覆馬場など）に移動しての育成調教の開始、天馬街道の開通（これを記念しての赤塚場長以下騎馬隊による野塚トンネルの渡り初め）など、強く思い出に残る出来事がありました。そのほか本部の生産育成部門で通算9年半の経験はあるものの、昨年3月からの本部生産育成対策室での勤務が2014年以来10年ぶりのこの分野への復帰となりました。

前置きが長くなりましたが、今回10年ぶりに勤務して、最も強く感じているのがセリ市場の盛況ぶりです。BTCニュースへの寄稿ですので、本来は2歳トレーニングセールについての話がふさわしいのかもしれませんが、今回はセリ市場の核となる1歳市場について私なりに分析してみましたので、お付き合いをお願いします。以下、日本軽種馬協会が提供するJBISサーチのデータから、最近3年間（2022～2024年）とその10年前（2012～2014年）の成績を比較する形で分析しました。

〇全1歳市場について

表1のとおり最近3年間の売却総額（975億）が10年前（355億）に比べ2.74倍にまで上昇しているのは驚くべきことといえます。

その内訳は市場取引頭数の増加（1.61倍）×価格の上昇（1.70倍）ということになります。セリ市場の信頼性・透明性

表1. 市場成績の比較（全1歳市場）

開催年	売却総額	売却頭数	平均価格	中間価格	売却率
2012～14年	355億	4,290	828万	378万	59%
2022～24年	975億	6,919	1,410万	627万	81%
増加割合	2.74倍	1.61倍	1.70倍	1.66倍	22%増

が増したことと高資質馬も含めた魅力ある馬の上場がなされたことが、取引頭数の増加と価格の上昇に反映されたものであり、改めて関係者の努力に敬意を表したいと思います。特に取引頭数が右肩上がりの状況のなか、購買者にも上場者にも配慮した快適な市場運営を担った北海道市場をはじめとする主催者各位のご努力は称賛に値するものと感じます。売却率でも2005年まで20%台だったものが、2011年に50%、2024年は80%を超えるまでになっています。

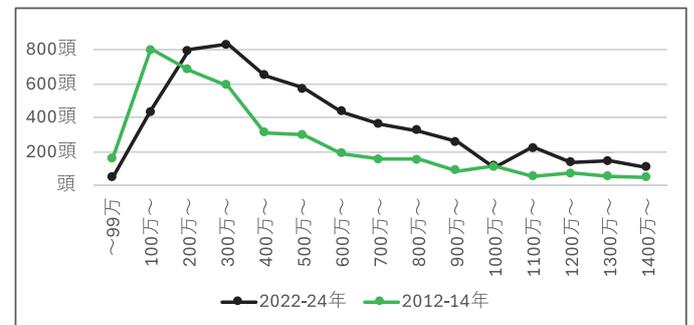


図1. 価格帯別取引頭数の比較（全1歳市場）

※ 1500万円以上は割愛

つぎに全1歳市場価格帯別の取引頭数を分析してみました（図1）。100万円ごとの区切りでみますと、10年前の最多価格帯は100万円台であり、かなりの安価で取引されていた層が一定数存在しました。最近3年間では100万円台の取引は半減し、最多価格帯は300万円台にシフトし、中間価格も378万円から627万円にまで上昇しています。（なお、1,500万円以上の高価格帯は、セレクト、セクションセールの分析でご覧いただくため、このグラフからは除外しています）。

○セレクトセール（1歳）について

表2. 市場成績の比較（セレクトセール1歳）

開催年	売却総額	売却頭数	平均価格	中間価格	売却率
2012~14年	187億	643	2,909万	2,048万	85%
2022~24年	448億	662	6,768万	4,675万	96%
増加割合	2.40倍	1.03倍	2.33倍	2.28倍	11%増

つづいてセレクトセール（1歳）について分析します。表2のとおり最近3年間の売却総額（448億）は10年前（187億）に比べ2.40倍に上昇しています。取引頭数の変化（1.03倍）はほとんどなく、大幅な価格の上昇（2.33倍）が総額アップに直結しているのが特徴です。

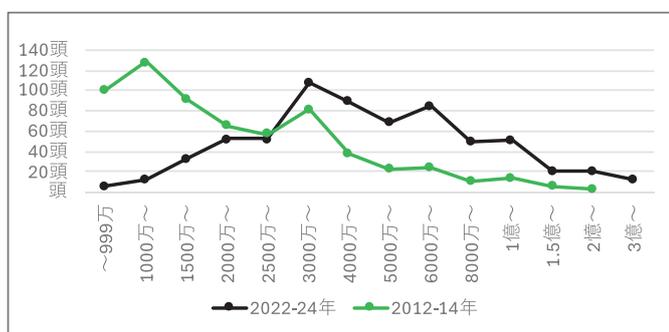


図2. 価格帯別取引頭数の比較（セレクトセール1歳）

価格帯別の取引頭数（図2）をみても、全体的に高価格帯にシフトしており、中間価格も2,048万円から4,675万円（2.28倍）と大幅に上昇しています。また10年前には一定数存在した1,000万円以下の取引がほとんどなくなったことも特徴といえます。価格が高くて特に高資質馬を入手したいと考える購買者のニーズにしっかりと応えた市場といえるのではないのでしょうか。

○セレクションセールについて

表3. 市場成績の比較（セレクションセール）

開催年	売却総額	売却頭数	平均価格	中間価格	売却率
2012~14年	52億	426	1,218万	1,001万	62%
2022~24年	195億	946	2,058万	1,650万	88%
増加割合	3.75倍	2.22倍	1.69倍	1.65倍	25%増

次にセレクションセールは、表3のとおり最近3年間の売却総額（195億）は10年前（52億）に比べ3.75倍と大幅に上昇しています。この上昇は取引頭数の増加（2.22倍）×価格

の上昇（1.69倍）の相乗効果ということになります。中間価格も1,001万円から1,650万円（1.65倍）と上昇しています。

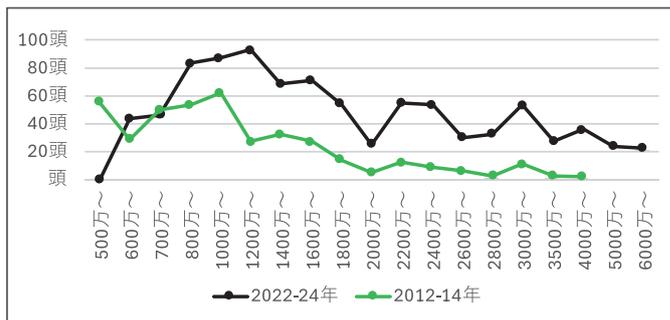


図3. 価格帯別取引頭数の比較（セレクションセール）

価格帯別の取引頭数（図3）では、セレクトセール同様、全体が高価格帯にシフトしていますが、10年前には少数だった2,000万円以上の取引が大幅に増えていることがよく分かります（全体の13%→40%へと増加）。上場頭数が最大となる北海道市場において、選抜市場（セレクションセール）のあり方は種々議論され、開催日数やプレミアムセッションの導入など、その時々ニーズを考慮して形を変えてきていますが、結果として大成功しているといえるのではないのでしょうか。

○高額取引馬の父（種牡馬）について

今回は人気種牡馬の変化について調べてみました。

表4. 取引価格上位100頭の父馬（5頭以上・セレクトセール1歳）

開催年	全登場種牡馬	種牡馬	頭数
2012~14年	24頭	ディーブインパクト	26
		キングカメハメハ	17
		ダイワメジャー	9
		ネオユニヴァース	7
		ステイゴールド	7
		ゼンノロブロイ	5
2022~24年	31頭	エピファネイア	16
		ドゥラメンテ	13
		ロードカナロア	9
		キタサンブラック	8
		サートウルナーリア	6
		コントレイル	5
		キズナ	5
		モーリス	5

表5. 取引価格上位 100 頭の父馬（5 頭以上・北海道市場 1 歳）

開催年	全登場種牡馬	種牡馬	頭数
2012~14年	55頭	アドマイヤムーン	5
2022~24年	39頭	キタサンブラック	10
		キズナ	8
		エピファネイア	7
		サートゥルナーリア	6
		ドレフォン	5
		シニスターミニスター	5

表4. 5は最近3年間（2022-24年）とその10年前（2012-14年）のセレクトセールと北海道市場それぞれ1歳市場での高額取引馬100頭の父馬について調べた結果です。

まず、セレクトセールですが10年前はディーブインパクトが上位100頭中の26頭、キングカメハメハが17頭など人気が集まっており、上位100頭の父馬は24頭の種牡馬に限られていました。最近3年間ではエピファネイア16頭、ドゥラメンテ13頭など31頭の種牡馬が登場し、比較的人気が分散してきたといえます。

北海道市場はもっと分散していて、10年前の上位100頭には55頭の種牡馬が登場します。5頭以上の産駒がランクインした種牡馬はアドマイヤムーンのみ（5頭）で4頭がチチカステナンゴ、ネオユニヴァース、マンハッタンカフェ、メイショウボーラーでした。最近3年間でもキタサンブラックの10頭、キズナの8頭など39頭の種牡馬に分けられ、セレクトセールに比べると人気は分散しています。

○取引価格と活躍馬の関係

最後に市場取引価格と活躍馬の関係を調べてみました。図4は取引価格帯別の重賞（GI～III、Jpn I～III）・リステッド競走勝馬の輩出率です。この成績は2024年末現在で4.5.6歳世代の馬（つまり2019.2020.2021年の1歳市場取引の馬）を分析しています。

この3世代の1歳市場取引馬6253頭のうち68頭が重賞・リステッド競走の勝馬となっており、該当率は1.1%、68頭の取引価格の中央値は3,300万円でした。

1,500万円を超えると該当率は2%以上に高まり、5,000万円を超える馬は約9%と高い該当率になりました。高く評価された馬が結果を出しているのは当然といえば当然ですし、市場での取引価格の信頼性が裏付けられる結果といえ

ます。一方で該当率が1%に届かない1,000万円以下の取引馬でも12頭が重賞・リステッド競走勝馬となっており、550万円のミックファイア（ジャパンダートダービー）、356万円のメイショウムラクモ（レパードS）、367万円の九州産馬ヨカヨカ（北九州記念）などが含まれています。

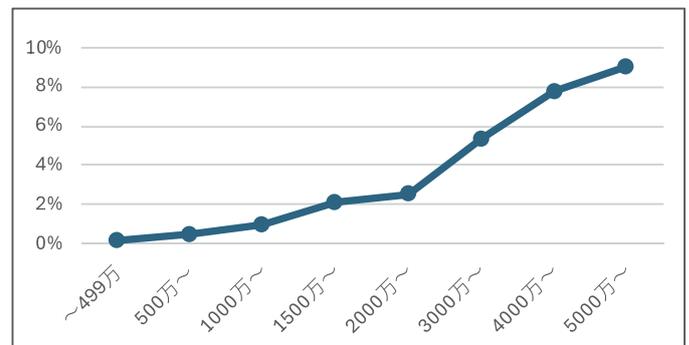


図4. 取引価格帯別の重賞・リステッド競走勝馬の割合 (2019～21年の全1歳市場取引馬)

○最後に

以上、最後までお付き合いいただきありがとうございました。しかし現在のセリ市場の盛況に喜んでばかりはられません。

馬産業における担い手不足、特に馬を育成・調教する技術者の不足は深刻な状況です。このような状況の中、BTCの育成調教技術者養成研修の果たす役割はますます重要となってきており、その定員増や研修生の負担額の軽減など、JRAとしても力を入れて取り組んでいます。それでも少子高齢化の世の中において、この産業だけに若者の参入を増やすことは難しいと考えざるを得ません。無事に生まれてきた馬でも、人がこれをしっかり馴致・育成して競走馬に仕上げるにはアナログな仕事として相応のボリュームがあります。AI技術の活用による効率化が求められる世の中になっても、この点は大きく変化しないのではないかと考えています。だからこそ、1頭1頭の競走馬には大きな夢があるし価値もあるといえます。

人口減少が進むであろう本邦においては、ある程度の頭数規模の中で1頭1頭の価値がしっかりと評価され、競馬が安定的に継続できるような方向も視野に入れていく必要があるのかもしれない。

イギリスとアイルランドの競馬について

日本中央競馬会

日高育成牧場 調査役

竹部 直矢

はじめに

このたび、連載をさせていただくこととなりました、JRA日高育成牧場の竹部と申します。私はJRAの獣医職として勤務して今年で16年目となり、現在は日高育成牧場で「JRAホームブリード」の生産を通じた研究業務を担当しております。

2022年3月から2024年2月までの2年間、JRAの生産育成部門が実施している「海外育成調教実践研修」にて、イギリスとアイルランドの馬づくりを経験させていただきました。本稿では、私の研修での経験をもとに、現地の競馬の情報や育成調教の方法や考え方、日本の競馬との違いなどについてご紹介させていただきます。

当然のことですが、諸外国と日本では気候を含めた環境、馬の性質、競馬のシステムなど、全てがそれぞれ異なっています。そのため、ご紹介する内容の全てが日本の馬づくりに応用できる、取り入れた方が良くということではないと思います。しかし、歴史ある競馬先進国でどのようなことが行われているのかを知ることで、より良い馬づくりのヒントにつながれば幸いです。

イギリスとアイルランドの競馬について

現地での育成方法などのお話を始める前に、実際に行われている競馬のスタイルについて触れておきたいと思います。イギリスとアイルランドは地理的にも歴史的にも非常に結びつきが強く、競走馬の交流も盛んにおこなわれています。

イギリスは、近代競馬発祥の国と言われています。初めて行われたダービーとして伝統あるエプソムダービーや、英国王室が競馬場に臨場するロイヤルアスコット開催、多くの調教師が厩舎を構え調教を行っているニューマーケットなどが有名です。イギリスの競馬場は、日本の競馬場と比べると、ギャンブルの場というよりも社交の場としての雰囲気があり、特に大きな開催などではドレスアップをした観客が楽しむ華

やかな競馬開催が行われています。

また競馬のレベルとしても、2024年のレースを対象としたロンジンワールドベストレースホースランキングの上位100頭の中に、イギリス調教馬は世界で2番目に多い20頭がランクインするなど、世界のトップクラスの国であると言えます（1番多いのは日本で22頭）。



ロイヤルアスコット開催などでは、豪華な正装をした観客が詰めかけ、華やかな社交の場となっています

アイルランドは、イギリスの西側に位置する島国で、国土の大きさや人口などがちょうど日本の北海道と同じくらいの小さな国です。多くのG1レースが行われるカラ競馬場やレパーズタウン競馬場が有名で、2024年には、シンエンペラー号が日本から遠征し3着と好走した、愛チャンピオンステークス（レパーズタウン競馬場）が記憶に新しいところです。また、2024年のジャパンカップにオーギュストロダン号などを出走させたことでお馴染みのトップトレーナー、エイダン・オブライエン調教師もアイルランドのバリードイル調教場に厩舎を構えています。

競走馬の生産については、アイルランドの方が盛んで、2019年の生産頭数はイギリスが4,748頭（世界第7位）であるのに対し、アイルランドは2倍近い9,295頭（同第3位）となっています。両国の馬の行き来に関しては、2020年のイギリスのEU離脱（ブレグジット）以降に多少手続きが煩雑に

なったもの変わらず頻繁に行われており、イギリス産馬がアイルランドで育成されて競馬場でデビューしたり、その逆であったり、現役競走馬の遠征などは頻繁に行われています。このため、種牡馬リーディングなどはイギリスとアイルランドの二国を集計したデータが用いられています。

障害競走が盛んな英・愛競馬

現地の競馬の形態について目を向けてみると、日本では芝コースとダート(砂)コースの競馬が行われていますが、イギリス・アイルランドではほとんど全てが芝で行われます。実際、イギリスでは59カ所、アイルランドでは26カ所の競馬場があるのですが、ダートコースは存在せず(例外としてアイルランドのレイタウン競馬場は、ビーチの砂浜で競馬をしています)、オールウェザートラックがそれぞれ6カ所、1カ所ある以外すべてが芝コースです。

また、日本と比べて障害競走が盛んに行われており、平地競走よりも人気があるくらいです。日本では、1月から12月まで一年中平地競馬が行われていますが、イギリスとアイルランドでは平地競馬のシーズンは3月から10月までで、11月から2月まではオールウェザーの競馬を除き障害競走のみが開催されます。これには、現地の気候が大きく影響しています。日本は冬に乾燥しますが、イギリスやアイルランドでは一年を通して降水量が多く、特に冬に雨が増えます。そのため、冬場は芝の馬場がぬかるみやすくなります。これを踏まえ、平地競走はコンディションが良い春から秋にかけて行われ、肢への負担がかかりやすい障害競走は、スピードが出にくい冬に行われるのです。私は主に平地競走の馬について研修してきましたので、本連載では平地競走についてご紹介します。



アイルランドにある障害競走の主要競馬場の一つであるパンチェスタウン競馬場

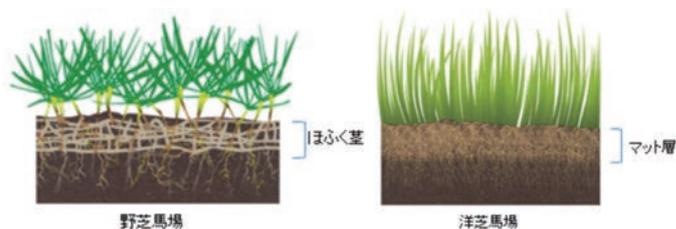
日本との馬場の違い

前述したように、イギリスとアイルランドの競馬は芝コースで行われるレースがほとんどですが、日本との芝コースの違いについてご紹介したいと思います。日本の競馬場は、馬が走りやすいコンディションにするために、路盤や排水の仕組みなどを改良しているのに対し、イギリスやアイルランドの馬場は基本的に自然のままの土壌が利用されています。もちろん、走りやすいように管理されているのですが、芝や土の質が日本とは大きく異なります。

日本馬が毎年挑戦している凱旋門賞において、なかなか勝てない理由の一つに馬場のぬかるみやすさが挙げられます。凱旋門賞はフランスのレースなので異なる国ではありますが、イギリスとアイルランドも似たような特徴があります。雨が降らず乾いた状態だと非常に硬い馬場になるのですが、雨が降るとぐちゃぐちゃとした脚拔きの悪い馬場に様変わりします。この一つの要因は、土の質の違いによるものと考えられます。現地の土壌は粒子が小さい土が多いため、粘土のようなイメージで乾くと硬く、ぬかるむと柔らかくなります。

もう一つは芝の品種の違いです。日本の本州以南の競馬場では、主に「野芝」という品種が使用されています。この野芝は、地表付近に「ほふく茎」と呼ばれる茎を張り巡らせており、それが頑丈な層を形成します。そのため、馬がこの芝の上を走ると、反発力が強くグリップも効きやすくなり、速いタイムが出やすい馬場となります。

一方、欧州の競馬場で生育している芝はいわゆる洋芝というもので、日本でも札幌競馬場と函館競馬場で使用されています。品種としてはペレニアルライグラスやケンタッキーブルーグラスといったものです。これらの品種は、野芝のようなほふく茎をもたない品種であるため、馬の蹄で簡単にえぐれてしまいます。結果、グリップが効きづらく、速いタイムの出にくい馬場となっています。さらに洋芝は地中に細かい根が密集した「マット層」を形成し、雨が降るとこの層に水が保持されやすいため、ぬかるみやすくなる要因となっています。



野芝と洋芝の模式図 (JRA ホームページより引用)



イギリスの競馬場の馬が走った跡は、画像のように大きくえぐれているのがわかります

自然の地形を利用した競馬場

競馬場の形態については、馬場の質だけではなくその傾斜にも日本と大きな違いがあります。競馬場の傾斜と聞いて日本で思い浮かぶのは、中山競馬場の最後の急坂や京都競馬場の3コーナーの長い下り坂などかと思えます。しかし、日本の競馬場は基本的に馬が走りやすいような造りになっているため、ほとんどの部分がフラットになっています。最も高低差のある中山競馬場でも、コース全体での高低差は5.3m、直線の上り坂では2.2m、傾斜にすると約2%であり、京都競馬場も外回りで高低差は4.3m、3コーナーの下り坂は中山と同程度の傾斜になっています。

一方、イギリスやアイルランドの競馬場は非常に起伏に富んだコースとなっています。最も典型的なのは英ダービーの行われるエプソムダウンス競馬場で、ダービーの行われるコースの高低差はなんと約40mもあります。スタートしてからの1,000mで約40mを上る、最大約4%の上り坂、その後

最後の直線では2~3%の長い下り坂を走ります。アスコット競馬場も高低差が約20mもあり、日本の競馬場と比較にならないほどタフなコースであることがわかります。



エプソムダウンス競馬場の最後の直線をゴール板側から見ると、長い下り坂になっているのがわかります

この理由は、やはり競馬場が自然の地形を利用して造られているからにほかなりません。しっかり人の手が入り整備された日本の競馬と、古くからの競馬の伝統を守ってきたイギリスやアイルランドとの違いが、馬場の質や競馬場の形態にも表れていると言えます。

以上のように、イギリス・アイルランドの競馬場の造りが日本と大きく違うことがお分かりいただけたかと思えます。レースの舞台に違いがあるということは、競馬に出走する前の育成の方法にも当然違いがあるはずですが、次回からは、私が現地の牧場や厩舎で実際に体験した育成や調教の様子をご紹介します。その感想をお伝えしていきたいと思えます。

スマホでも
パソコンでも!

BTC NEWS

最新号からバックナンバーまで
WEBでご覧いただけます

良い草で良い馬を！牧草の品種開発で競馬産業に貢献！！

軽種馬向け牧草種子

採草地向け品種

チモシー

マオイ

PVP 海外持出禁止
(農林水産大臣公示有)



- ・早生品種
- ・初期生育に優れる
- ・収量性、再生力、耐倒伏性に優れる

放牧地向け品種

ケンタッキー
ブルグラス

品種 ラトー



- ・早生品種
- ・発芽と初期生育が良好
- ・越冬性、収量性、さび病抵抗性に優れる

 雪印種苗株式会社

〒004-8531 北海道札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号
TEL 011-891-5718 FAX 011-891-5788
事業統括室 種苗グループ <https://www.snowseed.co.jp/>



EBMの理念 動物の医療を取り巻く環境は近年めざましい勢いで進歩しており、世界中で新しい医療技術や医療機器、医薬品および飼料の開発が行われています。

EBMトレーディングジャパン株式会社は先端医療のスペシャリストとして獣医療、特に馬に関する最新の医療製品や多様なサービスをお届けする体制の確立に努めるとともに、品質、安全、法令順守を最優先に考え、動物の医療現場のソリューションプロバイダーとして、皆様のお役に立てる企業を目指すことをお約束いたします。

 **Boehringer Ingelheim** ベーリンガー・インゲルハイム
アニマルヘルス ジャパン株式会社



ガストログード®

動物用医薬品
馬用胃潰瘍予防治療剤
要指示医薬品 指定医薬品 使用基準



ハイオネート®

動物用医薬品
馬用非感染性関節炎治療薬



LMFシリーズ (配合飼料)

- SUPER SUPPLEMENT (繁殖・当歳~18カ月令 蛋白質21%)
- SUPER SUPPLEMENT HI-Pro (繁殖・当歳~18カ月令 粗蛋白質30%)
- RACE (競走・育成馬 粗蛋白質13%)
- RACE HI-Pro (競走・育成馬 粗蛋白質16%)
- PERFORMANCE CONCENTRATE (競走・育成馬 燕麦無 粗蛋白質12%)
- SENIOR (高齢馬)



PEN EQUINE FIRSTシリーズ

- AMINOLYTE (アミノライト) 電解質補給・分岐アミノ酸 (BCAA)
- FLEX (フレックス) 関節のサポート
- COOL CARE (クールケア) 胃腸のサポート
- FOUNDATION HOOF (ファンデーションフーフ) 蹄のサポート
- PRG-P (リカバリージェルパウダー) 筋肉のサポート
- DIGEST Powder (ダイジェストパウダー) 生菌製剤・プロ/プレバイオテックパウダー
- DIGEST Paste (ダイジェストペースト) 生菌製剤・プロ/プレバイオテックペースト
- B-RELAXED (ビーリラックス) 馬の環境変化に

EBM Trading Japan KK
Evidence-based Biotechnology and Machinery

EBMトレーディング ジャパン 株式会社

本社 〒004-0052 北海道札幌市厚別区厚別中央2条5丁目3番31号 新札幌第一生命ビルディング2階
Tel. (011) 827-5960 Fax. (011) 827-5962 <http://www.ebmtrading.com>
関東支店・関西支店

JRA競馬博物館特別展 「創設30回記念NHKマイルカップ展」

公益財団法人馬事文化財団 競馬博物館部

長岡 武

東京競馬場内にあるJRA競馬博物館では、年間を通じて様々な展示を開催しています。今回は4月26日から開催予定の特別展「創設30回記念NHKマイルカップ展」についてご紹介します。

特別展「創設30回記念NHKマイルカップ展」

NHKマイルカップは、1996（平成8）年に3歳（旧4歳）マイルのGI競走として創設され、今年で30回を迎えます。同競走の前身はダービートライアルとして施行されていたNHK杯で1953（昭和28）年に創設されました。第1回の優勝馬は皐月賞や日本ダービーを制したポストニアンで、1973（昭和48）年には日本中に競馬ブームを巻き起こした怪物ハイセイコーが優勝しています。そして1984（昭和59）年のグレード制導入以降はGIIに格付けされます。しかしながら距離体系における根幹距離である1600mの3歳馬GI競走がなかったことから、1996（平成8）年に新設のGI競走NHKマイルカップとして装いも新たに施行されることとなりました。本稿では歴代の優勝馬のなかから筆者の印象に残る5頭をピックアップしてご紹介します。



1973年にNHK杯を優勝した怪物ハイセイコー

第1回（1996年）タイキフォーチュン

第1回の栄光に輝いたのはタイキフォーチュンです。当時は④旋風と言われ外国産馬が席卷していた時代でしたが、クラシック競走には外国産馬はまだ出走できませんでした。そのような背景もあり、出走馬18頭中14頭が外国産馬で、人気も外国産馬が上位を占めていました。レースはハイペースで進みましたが、中団にいた4番人気の外国産馬タイキフォーチュンが柴田善臣騎手の手綱で直線鮮やかに抜け出し勝利を収め、新たな歴史の1ページに名を刻みました。



タイキフォーチュン

第6回（2001年）クロフネ

日本ダービーと菊花賞への外国産馬の出走が各2頭出走可能となった2001（平成13）年はクラシック開放元年とも言われていました。前走の毎日杯を快勝した外国産馬クロフネが1番人気に支持されます。ごちゃついたり、他のジョッキーにマークされるのを嫌った武豊騎手がゆっくりとスタートさせて後方からの競馬となります。直線に向いて馬群を割って抜け出すと逃げるグラスエイコーオーをゴール直前で一気に交わす末脚で単勝1.2倍の圧倒的な人気に応え、日本ダービーへの切符を手に入れました。



クロフネ



ミッキーアイル

第9回 (2004年) キングカメハメハ

メイショウボーラーやコスモサンビームの皐月賞上位組を抑え1番人気に推されたのは毎日杯1着から直行したキングカメハメハで鞍上は安藤勝己騎手。管理する松田国英調教師はクロフネでも同様のローテーションで臨み、勝利をものにしています。レースはタイキバカラがレースを引っ張っていきませんが、直線に入ると馬群中団の外目にいたキングカメハメハが強烈な末脚を見せて、コスモサンビームに5馬身差をつけ圧勝しました。勝ちタイムも1:32.5のレース記録。この後同馬は日本ダービーに駒を進めダービー馬の栄冠に浴しています。



キングカメハメハ

第19回 (2014年) ミッキーアイル

重賞2勝(シンザン記念・アーリントンカップ)を含む4連勝で勢いに乗る浜中俊騎手騎乗のミッキーアイルが単勝1.9倍と断然の人気を集め、スタートから先手を取ってレースを進めます。2番手を追走していたホウライアキコが直線に入り外から並びかけてくるも追撃を振り切り、ゴール前ではタガノブルグ、キングズオブザサンらが追い込んできて、上位6頭が大接戦となりますがミッキーアイルがクビ差しのぎ切りました。

第24回 (2019年) アドマイヤマーズ

この年は桜花賞をレース記録で完勝したグランアレグリアと朝日杯フューチュリティSを制した2歳王者アドマイヤマーズの対決に注目が集まりました。はやい流れでレースが進む中、グランアレグリアは内側の4番手、アドマイヤマーズは中団の外を進む形となります。直線にはいりグランアレグリアの鞍上C.ルメール騎手は外に持ち出すが伸びきれません。一方、外から徐々に上がっていったM.デムーロ騎手騎乗のアドマイヤマーズは強烈な末脚で先頭に立ち桜花賞馬を下しました。グランアレグリアは4着で入線しましたが、直線での進路妨害をとられ5着降着となりました。



アドマイヤマーズ

本展ではNHKマイルカップのあゆみを歴代の優勝馬や前身のNHK杯の歴史などとともに振り返り、併せて3歳馬GI競走の変遷もご紹介します。この展覧会を機に改めて同競走に注目して頂ければ幸いです。

※展示の開催状況に関しては当館のホームページでご確認下さい。(https://www.bajibunka.or.jp/keiba/index.html)

※写真提供は全てJRA

セールスレポジトリ提出資料に見られる 所見の競走への影響に関する報告 (2)

日高軽種馬農業協同組合※ 獣医師

前田 昌也

前号では市場レポジトリに提出された検査画像データと競走成績を網羅的に解析した報告の中で、競走に影響する可能性が示唆された所見について紹介しました。

今回は、特定の検査所見に焦点を絞って調査した報告について紹介させていただきます。

繋関節に見られる骨軟骨病変

レポジトリ提出資料に指定されている関節は、球節、腕節、飛節、膝関節であり、球節の遠位に位置する繋関節は「球節の画像で確認できるように撮影する」ようマニュアルでお願いしています。海外の市場においても同様の指定をしているところがあります。

前号では「後肢の球節以下に見られる骨所見全般について臨床症状を示さないことが多い」と触れましたが、繋関節はまさに球節の下にあり、骨嚢胞や骨片が散見される部位です。この部位に関する私的感覚を先に申し上げます

- ・見つかる頻度は後肢が高い
 - ・前肢は後肢より症状が出やすい
 - ・骨片は骨嚢胞より症状が出やすい
- と考えています。

～文献から～

レポジトリ提出資料を用いてこの部位の所見について言及した論文は少ないのですが、近年オーストラリアのセリ資料から、この部位に焦点を当てた調査を Faulkner ら (2022) が報告しています。

この報告では、繋関節に見られる所見を①第一指 (趾) 骨遠位の骨嚢胞、②第二指 (趾) 骨近位の骨嚢胞、③骨軟骨片に分け (図1)、それぞれの発症率やセリの取引成績、競走成績について調査しています。ただ、オーストラリアのセリでは、レポジトリに後肢の球節以下の画像を提出する必要がなく、そのため後肢の画像についてはセリ提出用検査の際に追加で撮影していたものを解析に用いています。

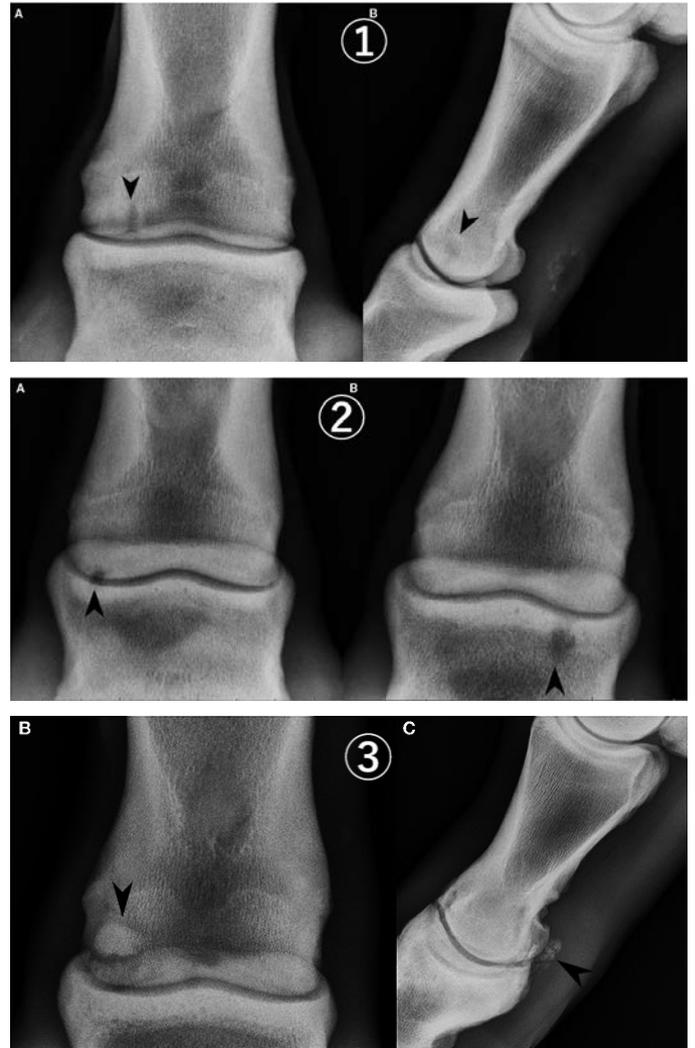


図1 繋関節に見られる骨所見

上段より①第一指 (趾) 骨遠位の骨嚢胞、②第二指 (趾) 骨近位の骨嚢胞、③骨軟骨片

Faulkner ら (2022) の報告より引用 (文献については後肢の参考文献を参照してください)。

発症率について

1,000頭以上の群を対象にしていますが、病変を持つ馬は6.3% (69頭、84箇所) で、①が多く②③の頭数が少ないため、②③の統計解析結果については解釈が難しいようです。私見で後肢の有病率が高いと前述しましたが、この報告では①に関してのみ前肢で有病率が上回る結果となっています。

※現在は退職されています

セリ取引成績について

病変の有無で差はないが①②と比較して③は明らかに売却成績が下がる結果となっています。しかし前述のとおり後肢の画像が提出されていないので、すべての病変が購入の判断材料にされているわけではなく、この数字は鵜呑みにできません。

競走成績について

病変の位置で比較すると背・掌(底)側(関節の前面後面)にある馬で劣る傾向があり、この位置には③の病変が多いので、ここでも③がいくらか影響しやすいことが読み取れます。

例数が少なく前肢・後肢別による有病率や影響の違いははっきりしないのですが、繋関節周囲はいくつかの腱・靭帯が付着しているため、付着部に関連した骨軟骨片であればより影響しやすいのかもしれませんが。

筆者の経験でも、骨軟骨片により繋が腫脹して圧痛や跛行の症状を示した症例(図2)がありました。特に前肢の症例では育成期にも症状が再発して順調さを欠きました。一方後肢の症例は臨床症状が改善し、競走時に影響しなかった例(図3)が少なくありません。



図2 右前肢掌側の骨軟骨片症例
筆者症例。レポジトリ提出用検査で病変が確認されるまで無症状であったが、育成時に腫脹と跛行を示し、保存療法後も再発し、3歳で初出走以降凡走した。

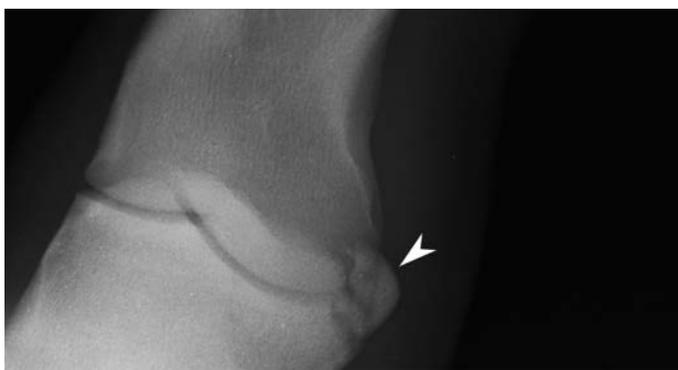


図3 左後肢底側の骨軟骨片症例
筆者症例。1歳時に腫脹と跛行を示しX線検査で骨軟骨片を確認。保存療法で改善後は育成期も無症状で、2歳時初出走した。

腕節の副手根骨における骨軟骨片

セリのレポジトリ提出資料を調査した報告では、腕節の病変について言及した報告は多くありません。1歳までに腕節で病変が確認されることが少なく、また存在した病変にも影響が確認されていないからでしょう。Kaneら(2003)が腕節内の橈側手根骨背側面(前面)に骨増生が見られる症例で出走率の低下が確認されたと報告していますが、他の報告で言及はありませんでした。腕節はむしろ競走期において骨折が見られる部位で、1歳セールよりむしろ2歳のトレーニングセールで注視される部位と言えます。海外のトレーニングセールでは、レポジトリ提出資料としてより多くの腕節のX線検査が求められています。

～文献から～

Davernら(2019)はレポジトリ提出資料における腕節内の副手根骨に骨軟骨片が確認される症例(図4)に着目して競走への影響を評価しています。

彼らは、

- 1) 1歳セリのレポジトリ提出資料にて「副手根骨骨折」と診断された馬については競走能力が劣ることはない
- 2) 副手根骨骨折と腕節背側(正面)の炎症性病変を併発している馬については競走能力が低下する

という二つの仮説を立てて調査しています。過去の報告を合わせてもレポジトリ提出資料で確認される頻度は0.2%程度とのことです。今回は8世代分にわたってセール症例を集めています。

結論では、出走や獲得賞金の面から比較したものの、副手根骨の病変について競走能力への悪影響を確信できるものは得られていません。骨関節炎を併発していた馬の調査においても影響は確認できませんでした。事後解析を実施したところ、出走率への影響を統計で正確に結果を導くには今回の3倍近い数を揃える必要があることが示されたとのことです。

症例数が少なく統計解析の精度に課題が残りますが、セリに上場する1歳馬は跛行などの臨床症状を示していないことが通常であり、競走馬・競技馬が発症する副手根骨骨折とは異なった病態の骨軟骨片だと思われます。

獣医師の立場からすれば、セリの資料でこの所見を見つけると少し驚かれるかもしれません。やはり原点回帰し、実馬を良く観察して跛行や圧痛を確認することが大事でしょう。

終わりに

2号にわたってレポジトリ提出資料に関連した報告と実症例を紹介しましたが、例数が少ない所見もあるので、セリの際にこれらの報告通りに判断するべきとまで言いきれません。個人的には、レポジトリ提出資料で判断しているのは「悪いかもしれないもの」であり、「良いもの」を探す情報としては乏しいと考えています。何か所見が見つかると思わない理由にしがちですが、「馬がいいのか悪いのか」を十分に考えてからレポジトリ資料を参考にして、「買わない」よりも「いくらで買うか」という基準に取り入れるのが良いのではないのでしょうか。

また販売する立場の方は、検査時に所見が見つかると思場を検討する方が多いのですが、堂々と資料を公開して上場し、適切な価格設定をすればトラブルも少ないでしょう。

参考文献

- [1] Faulkner J. et al., (2022). Radiographic prevalence of juvenile osteochondral conditions of the proximal interphalangeal joint of Australian Thoroughbred racehorse yearlings and associations with sales results and race performance. *Front. Vet. Sci.*, Volume 9 - 2022 <https://doi.org/10.3389/fvets.2022.988826>
- [2] Kane, AJ. et al., (2003). Radiographic changes in Thoroughbred yearlings. Part 2: Associations with racing performance. *Equine Veterinary Journal*, 35(4), 366-374.
- [3] Davern AJ. et al., (2019). Comparison of the racing performance of Thoroughbreds with versus without osteochondral fragmentation of the accessory carpal bone identified on yearling sales repository radiographs. *J Am Vet Med Assoc* ;254:501-507.

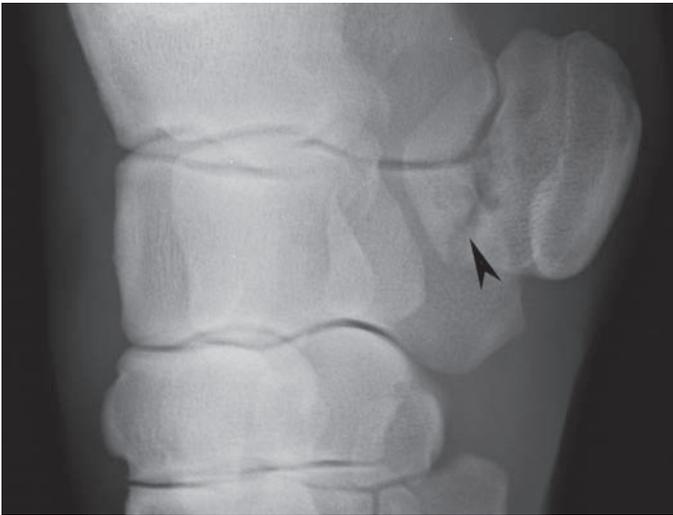
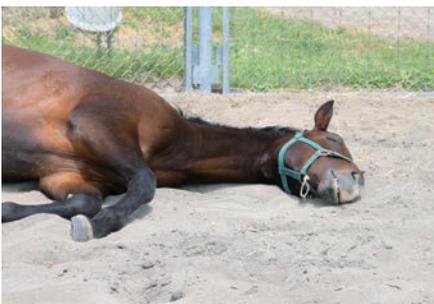


図4 副手根骨の骨軟骨片2症例
ともに筆者症例。ともにレポジトリ提出用検査で病変が確認された。上は予後追跡不明。下は育成時に臨床症状を示すことなく、2歳で初出走時に勝利した。



BTC 調教場

(浦河高校写真部BTCフォトコンテスト用撮影)



大澤梨乃「口開いてるよ」



青悦さくら「キミといつしよに」



前田廣大「なんか用？」

BTC フォトコンテストは、BTC 調教場内の風景や施設などの写真撮影を浦河高等学校写真部に依頼し、その写真を審査、表彰するコンテストで、今年で8回目を迎えます。提出された作品は、当センターのポスターやパンフレットなどのPRに活用されるほか、調教場内や浦河町内の施設で展示されます。

浦河高等学校写真部は町内外の作品展で優秀な成績を収めるなど、高い評価を得ており、浦河町のさまざまなPR活動でも活躍しています。

今回の撮影は、5～9月の土曜日や夏休みを利用して行われました。限られた撮影機会の中でしたが、部員間で協力し合い、工夫を凝らして撮影を行いました。また、撮影中はBTC 調教場利用者から温かい声をかけていただいたり、生徒が撮影しやすいようご協力いただく場面もありました。

今回22作品の中からBTC 役職員の投票により理事長賞、優秀賞2点を選出しました。また、特別賞としてJRA 日高育成牧場賞と日高振興局賞は、それぞれ日高育成牧場場長と日高振興局長に選定いただき、計5作品が表彰されました。

以下に受賞作品と撮影者のコメントをご紹介します。

【理事長賞】

作品名「これだけは譲れない」

撮影者：松本 怜さん

「馬は常に動いているので想像と違う動きをしてピントが合わず、思い通りに撮れないこともありましたが、この写真は自分が撮影してきた馬の写真の中でも



比較的良く撮れたと思っています。今回、何度か撮影に参加しましたが、その中でもなかなか撮れない画だったので自分でもいい写真だと思いこの作品を選びました。」

【優秀賞】

作品名「至福の時」

撮影者：加藤 小遥さん

「今回撮影した写真は馬がシャワーを浴びている写真なのですが、シャワーの水もきれいに撮れていて、自分でもいいなと思いました。これからも馬の日常であったり、浦河町だからこそ撮れる写真を撮影したいです。」



【優秀賞】

作品名「草陰」

撮影者：笹原 なりえさん

「優秀賞を取れると思っていなかったのととてもうれしいです。馬が草を食べている写真なのですが、馬と同じ目線で撮影した方がより身近に感じられて、草を食べている馬のかわいさを表現できていると思いこの写真を選びました。」



【特別賞：JRA 日高育成牧場賞】

作品名「一心同体」

撮影者：近藤 夕日さん

「この写真は、私が一人で撮影に来た時に撮った写真なのですが、一人だったことで、研修生の練習風景を間近で撮影する機会に恵まれました。今までの受賞作品の中で研修生が馬に乗っている



写真が少なかったためこの写真を選びました。熱心に馬に乗っている姿は写真を通して伝わったと思います。」

【特別賞：日高振興局賞】

作品名「お腹すいた」

撮影者：古川 隼也さん

「この写真は、馬の気持ちになって、馬はどんなことを考えているのかを想像しながら撮影しました。今回色々な写真を撮影しましたが、馬の顔がしっかり映っているこの写真を選びました。次は、馬が走っている姿を撮影できたいなと思います。」



ご紹介した作品以外にも素晴らしい作品を多数ご提出いただきました。当センター HP に掲載しておりますので、ぜひご覧いただければ幸いです。

コンテストに参加していただいた写真部の皆様、また、大変お忙しい中、撮影にご協力いただいたBTC 調教場利用者の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

BTC短期講習会（育成技術者養成研修短期講習会）について

公益財団法人 軽種馬育成調教センター 教育課 教官

山本 真維

当センターでは、本年6月と秋季に個々の育成技術の向上を図る短期講習会を企画しております。受講対象者は育成牧場に勤務しており、走路での駈歩騎乗が可能な方です。昨年は10月と12月に各1回、4日間の講習会を開催し、延べ9名の方が受講しました。

受講者の目的

これまで受講された方は、以下のような目的をもって受講されています。

- ・走路騎乗の技術向上を図りたい
- ・様々なコースでの騎乗経験を増やしたい
- ・走路騎乗でのペースコントロールの向上を図りたい
- ・日頃の調教における疑問や問題点を解決したい

短期講習会の基本スケジュール

- ・騎乗訓練

1日1～2鞍の騎乗訓練

(研修受講者の技術に応じてコースを選択しています)

走路騎乗を中心とし、基礎乗馬訓練を取り入れることで、バランス力の向上や馬上での体の使い方についても指導します。

2025年度短期講習会のご案内

第1回 6月毎週水曜日 計4日

第2回 秋季を予定

◇受講料

各回10,000円

◇お問い合わせ

(公財) 軽種馬育成調教センター 教育課 教育係

TEL: 0146-28-1001 / 9:00~16:30 (土日祝休)

メール: kyoiku@b-t-c.or.jp

詳細は「BTC 短期講習」で検索



短期講習会は受講者から良好な評価をいただいております。今後も、より実用的で有意義な講習会を目指し、「強い馬づくり」を支える育成技術者の皆様に全力でサポートできるよう準備を進めてまいります。皆様のご参加をお待ちしております。



研修用 800m 走路での騎乗訓練



BTC 調教場を代表するグラス馬場での騎乗訓練



角馬場での騎乗、障害飛越や姿勢の確認



シュミレータを用いた姿勢やバランスの確認



一緒に働くスタッフを募集しています。
 詳細はお電話でのお問い合わせ、
 またはウェブサイトをご覧ください。

Tel:0123-21-2311 (担当:佐藤、青田)



リクルートサイト

社台ファーム

〒069-1181 北海道千歳市東丘 1288-140

- 社台ファーム鈴鹿 〒519-0323 三重県鈴鹿市伊船町 136
- 山元トレーニングセンター 〒989-2111 宮城県亶理郡山元町坂元一ツ橋 1
- 日高社台ファーム 〒059-2121 北海道沙流郡日高町門別本町 16
- 社台ブルーグラスファーム 〒059-2127 北海道沙流郡日高町旭町 23



JRA-VAN 調教機能

いつでも推し馬の情報を



POINT 1

データ量！

全坂路・ウッドコースの
調教タイムを毎日更新

POINT 2

提供速度！

毎日お昼ごろに
調教タイムを提供

POINT 3

調教映像も！

一部の馬の調教映像も
最速レベルの更新

JRAシステムサービス株式会社

詳しくはこちら ▶



消化管内寄生虫に対するAAEPガイドラインの要点解説①

日本中央競馬会 馬事部主任調査役

村瀬 晴崇

はじめに

JRA馬事部の村瀬と申します。2022-24年において日高地区における消化管内寄生虫の調査研究に取り組みましたので、今号から数回に渡ってその成果を紹介させていただきます。まず本稿では研究結果の紹介に先立ち、海外のガイドラインについて解説いたします。また、本テーマの背景についてはBTCニュース No.129「消化管寄生虫対策の現状と今後」で触れられていますので是非ご一読ください。

米国馬獣医師協会（AAEP）のガイドライン

AAEPは世界中に約1万人の会員を抱える世界最大の馬獣医師団体です。ウェブサイトにはさまざまなガイドラインを公表しており、その中にInternal Parasite Control Guideline（消化管内寄生虫制御のガイドライン）があります。以下にその目次を示します。

1. 寄生虫対策の最終目的
2. はじめに
3. 寄生虫の診断方法とその精度
4. 駆虫薬の効果判定
5. 駆虫薬耐性の状況
6. 円虫の虫卵再出現期間
7. 幼虫の駆虫
8. 寄生虫対策の方法
9. 推奨される寄生虫対策プログラム
10. 実践すべき6つの変更点

本ガイドラインは教科書のような構成になっており、単に駆虫プログラムを示すだけでなく、そこに至るまでの知識・概念を理解できる構成になっています。

みなさまは8、9章を知りたいと思われるでしょうが、それを理解するためには1～7章を理解する必要があります。

8、9章のみが独り歩きすることは決して好ましくありませんので、ここではその解説を控えることをご容赦ください。本稿では従来の駆虫管理法からの変更点を把握するため、1、2、10章について解説いたします。

1章. 寄生虫対策の最終目的

冒頭の1章には寄生虫制御の目指すべき到達点が明記されています。この前提を理解することは重要ですので、以下に太字で和訳全文を掲載いたします。

馬における寄生虫対策の真の目的は、動物を健康に維持し、臨床症状があらわれるリスクを減らすことである。つまり、その目的は個体から全ての寄生虫を完全に駆除することでは決してない。完全な駆除というのはそれ自体が不可能だけでなく、それを目指すことで寄生虫の駆虫薬耐性の獲得を助長してしまう。

あらゆる寄生虫対策プログラムの目的は以下に集約することができる。

- ・寄生虫感染症のリスクを最小限に抑える
- ・さらなる駆虫薬耐性が生じるのを遅らせ、可能な限り薬剤の有効性を維持する。

これまで、「寄生虫ゼロの状態」を目指してきたために頻回駆虫を招き、耐性化が進みました。残念ながら、寄生虫（特に小円虫）は外環境に多く存在するため、一時的に馬体内から駆逐することはできても、飼育環境から寄生虫を駆逐することはできず、すぐに再感染します。新しい駆虫薬を開発すれば良いのではないかとと思われるかもしれませんが、近年新たな駆虫薬は開発されておらず、今後も期待できないため、今ある駆虫薬の有効性を保つことが重要です。

今後はある程度の寄生状態は許容し、個体におけるリスクを「ゼロにする」のではなく「最小限に抑える」こと、なにより馬群における「薬剤の有効性を可能な限り維持する」こ

とが目標になります。

2章. はじめに

2章ではターゲットとなる寄生虫について解説されています。各寄生虫の重要な点を抜粋いたします。

2.1. 小円虫類

馬の内部寄生虫の中でも世界中で最もよく遭遇する寄生虫である。放牧されている馬であれば、小円虫はほぼ寄生していると言えるが、これが疾患を引き起こすことは稀である。

乾燥地域や青草の生えている放牧地に放牧されない馬では、優先して対策する必要はないことが多い。

2.2. 大円虫類

馬において最も病原性の高い普通円虫が含まれている。普通円虫は前腸間膜動脈の血栓症と致死性の腹膜炎を引き起こす。数十年にわたる集中的な駆虫によって、米国内では検出されないレベルまで減少した。しかし、駆虫薬の予防的投与が制限され、獣医師の処方箋がなければ入手できなくなったスカンジナビア諸国においては、近年再出現が報告されている。

2.3. 葉状条虫

ケンタッキー州の調査において、およそ50%の馬に葉状条虫の寄生が認められた。この感染率は条虫に有効な駆虫薬が普及する前後で変わっておらず、現在においても放牧飼育馬において一般的な寄生虫である。葉状条虫は回盲部に起因する疝痛との関連が報告されている。乾燥地域には中間宿主のササラダニがわずかしおらず、乾燥地域や青草が生えていない放牧地においては、優先して対策する必要はないことが多い。

2.4. 回虫類

回虫は世界中の生産牧場で一般的に認められ、子馬において最も重要な寄生虫である。最も重要な臨床症状は、寄生子馬の一部に発生する小腸閉塞である。小腸閉塞は子馬の予後が危ぶまれるもので、外科手術後の消化管癒着と同様に捻転、重積、破裂などによりさらに事態は深刻化する。

濃厚寄生した子馬に効果のある駆虫薬を投与すると、死滅虫体が腸管腔内に詰まって急性の小腸閉塞を引き起こすことがある。これは麻痺性作用を持つ駆虫

薬（イベルメクチンやピランテル）が影響している可能性があり、回虫類の駆虫には非麻痺性作用機序を持ち駆虫効果が緩徐なベンズイミダゾール系が、より安全な治療の選択肢となりうる。ただしこれは十分な科学的証拠に裏付けされているわけではない。

回虫類の寄生は免疫が確立している成馬においても時折みられることがあるが、臨床症状を呈することは極めて稀である。

2.5~9. ~省略~

それぞれの寄生虫がどの年齢・飼育環境の馬に問題となるのかご理解いただけたでしょうか。要約すると、①小円虫は極めて一般的に認められるが、病原性は低い。②大円虫は病原性が高いが、近年の駆虫管理でコントロールできている。しかし、定期駆虫を怠ると再燃するリスクがあるため注意が必要。③葉状条虫は放牧飼育馬で一般的に認められ、回盲部に起因する疝痛の要因となりうる。④回虫は当歳馬で一般的に認められ、小腸閉塞により重篤となりうる。イベルメクチンよりもベンズイミダゾールが推奨される（国内製品であればフルベンダゾール）。

日高地区においては毎年、葉状条虫と回虫に起因する子馬の手術例・死亡例が発生しているため、生産牧場においては特に③④が大きな問題です。③については、日高地方は欧米に比べて葉状条虫の汚染地域と考えられ、欧米以上に警戒する必要があります。また、有効駆虫薬がイベルメクチンではなくプラジカンテルであることも重要なポイントです。④については、2009年に国内で最初のイベルメクチン耐性回虫が報告されて以来、日高でも広く耐性化が進んでいると認識されています。加えて、死滅虫体による閉塞を避けるためにもフルベンダゾールを用いることが重要です。

10章. 実践すべき6つの変更点

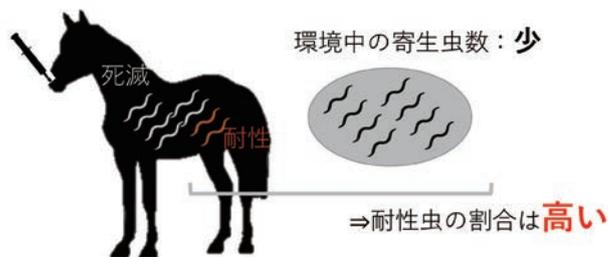
10章ではガイドラインのまとめとして6つのポイントをおさらいしています。以下に順に解説いたします。

①虫卵数減少試験を実施して、定期的に駆虫薬の有効性を確認する。

虫卵数減少試験については4章に詳述されていますが、駆虫前後の2回検査することで虫卵数の減少率から駆虫薬の効果を評価します。耐性状況は牧場によって異なりますので、各牧場がそれぞれ把握しておく必要があります。

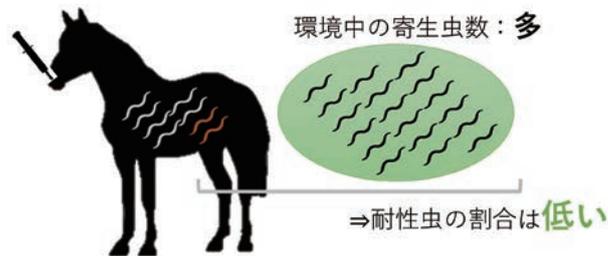
②年間を通じて一定の間隔で駆虫しない。

寄生虫の活性は季節気候に応じて変化するため、それを念頭に駆虫時期を決定します。一般に、春と秋の過ごしやすい季節に寄生虫は活発化します（北海道は夏）。一方、暑熱・厳冬期には寄生虫感染リスクは低くなりますので駆虫間隔を空けることができます。



③駆虫薬のローテーション投与法を行わない。

ローテーション投与方法とは複数の駆虫薬を順番に投与する方法で、以前は耐性化を抑制すると考えられていました。しかし、これは用いる駆虫薬が有効という前提の話です。耐性化が進んでいる今日においては、その前提が崩れていることに留意しなければいけません。重要なことは「効果がある駆虫薬を用いる」ことです。



④駆虫薬の投与頻度を下げる。

これまで、駆虫回数を増やすことがより良い対策と考えられてきましたが、耐性化リスクを抑えるためには逆に投与回数を減らすよう心掛ける必要があります。ただし、これは頻回駆虫を控えることが目的であって、駆虫頻度が年2回の牧場に対して1回もしくはゼロにするべきというものではありませんのでご注意ください。

⑤円虫の制御は感染が活発になる季節に合わせて実施する。

②④と関連しますが、駆虫薬の投与は感染リスクが高まる時期（寄生虫が活発になる時期）に行うことが推奨されます。リスクが低い時期に駆虫した方が体内の寄生虫をゼロにしやすと思われるかもしれませんが、小円虫はすぐに再感染しますので、一時的に体内の寄生虫をゼロにすることにこだわる必要はありません。円虫対策の目的は馬群における虫卵排泄量を減らし、放牧地の汚染を抑えることです。8章に詳述されていますが、例えば北海道の極寒期や本州の暑熱期は外界でほとんどの虫卵が死滅しますので、駆虫によって虫卵排出を抑制する重要性は低くなります。また、耐性化を抑制する観点からも感染リスクが高まる時期の駆虫が推奨されます。馬に駆虫薬を投与した際に一定の割合で耐性化が起きると仮定した場合、環境中の寄生虫群が大きい（放牧地の寄生虫が多い）ほど、その牧場における耐性虫率は低くなりますので（下図）、この観点からも春秋の駆虫が望ましいと言えます。

⑥臨床症状を示す症例の診断に虫卵検査を用いない。

これまで、臨床症状（例えば疝痛や削瘦）を示した馬の検査として虫卵検査を行うことがありました。虫卵が認められた場合には、寄生虫が原因と診断されて駆虫薬を投与します。しかし、無症状馬の多くにおいても円虫卵が検出されますし、逆に葉状条虫は寄生していても虫卵が検出されないことがよくあります。このようなことから、有症状馬に対する虫卵検査の診断価値はないと言えます。

さいごに

本稿ではAAEPのガイドラインの冒頭とまとめを引用しながら、新しい寄生虫対策のポイントについて解説いたしました。BTCニュース No.129と重複する部分も多くありますが、改めて従来正しいと認識されていたことと異なる点をご理解いただけたでしょうか。

次号では具体的な対策について述べた8、9章について解説いたします。

参考資料

BTCニュースNo.129
「消化管寄生虫対策の現状と今後」



AAEP
各種ガイドライン



エクエヌテクト®ERP

馬鼻肺炎生ワクチン(シード)



その他の馬用ワクチン

- 日生研日本脳炎TC不活化ワクチン
- エクエヌテクトFLU
- 日生研日脳・馬ゲタ混合不活化ワクチン
- エクエヌテクトJIT
- 日生研馬ロタウイルス病不活化ワクチン
- 破傷風トキシイド「日生研」



日生研株式会社

〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

TEL 0428-33-1009(営業部)

URL <https://www.jp-nisseiken.co.jp>

馬術に関するトピックス満載

日本馬術連盟では、毎月1回 機関誌『馬術情報』を発行しています。
国内の主要競技会、日本選手の国内外での活躍、海外の情報、その他馬にかかわるトピックス満載です！



月刊 馬術情報

Japan Equestrian Federation Journal



公益社団法人
日本馬術連盟

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16
TEL 03-3297-5611 FAX 03-3297-5617
<https://www.equitation-japan.com>

購入・購読のお申し込み方法

毎月1日発行 A4サイズ/約48ページ

定価 550円 (送料・消費税込)

年間購読 12冊 5,500円 (送料・消費税込)

■お申し込み方法

ハガキ・FAX・ウェブサイトから、下記事項を明記のうえお申し込みください。
代金の入金確認後に発送いたします。

- ① お名前(ふりがな)
- ② 郵便番号
- ③ 住所
- ④ 電話番号
- ⑤ 下記のいずれかを明記してください
・1冊のみ購入希望の場合は希望月
・年間購読希望の場合は購読開始月

■お支払い方法

下記のいずれかの方法でお支払いいただけます。

- ◎銀行振込 : 三菱UFJ銀行 本店
(普) 1447629
コウエキシャダンホウジン ニホンバ(ジョウレンメイ)
公益社団法人 日本馬術連盟
- ◎郵便振替 : 00150-2-31103
コウエキシャダンホウジン ニホンバ(ジョウレンメイ)
公益社団法人 日本馬術連盟
- ◎現金書留 : 〒104-0033
東京都中央区新川2-6-16
馬事畜産会館6F
公益社団法人 日本馬術連盟
総務部『馬術情報』係

※個人情報『馬術情報』発送の目的以外には使用いたしません。

Thoroughbred Breeders Club – Stallions Information –

エーピーインディ系マジスティックウォリアーが送るダート重賞2勝の新種牡馬



©Keibabook

プロミストウォリア Promised Warrior(JPN)

2017年生 平取産 鹿毛

父:マジスティックウォリアー 母プロミストスパーク(by フジキセキ)

- ・長期休養明けの1勝クラスからダート1800mで一気の5連勝。軽快な先行力を武器にG2東海ステークスは2馬身差の快勝。
- ・G3アンタレスステークスはメンバー中最重量の59kgを背負いながら前半1000m59.4のハイラップを刻み、逃げ切り勝ち!
- ・父マジスティックウォリアーは、昨年Jpn1川崎記念を制し、NARグランプリ年度代表馬に輝いたライトウォリアー、新設されたダート三冠路線でJpn1東京ダービーを制したラムジェットと2頭のG1馬が誕生。日本での活躍が目立つエーピーインディ系種牡馬の有力後継馬!

競走成績	11戦6勝2着1回 総賞金1億4533万2000円
	1st 東海ステークス-G2…………… ダ1800m
	1st アンタレスステークス-G3…………… ダ1800m
	1st 摩耶ステークス…………… ダ1800m
	5th 帝王賞-Jpn1…………… ダ2000m

種付料 受胎条件 **50万円** フリーリターン 特約付き 出生条件 **80万円**

配合申し込み・お問い合わせは ▶▶ TEL 01456-2-2121 ブリーダーズクラブ遠藤・秋山・神谷・福島まで!

繋養 **ブリーダーズスタリオンステーション**
〒055-0004 北海道沙流郡日高町富川東2丁目972番地3
TEL 01456 (2) 0945 FAX 01456 (2) 2054

事務局照会 **(株)サラブレッドブリーダーズクラブ**
〒055-0004 北海道沙流郡日高町富川東3丁目3番1号
TEL 01456 (2) 2121・2122 FAX 01456 (2) 2505

★ BTC 調教場利用 重賞競走 優勝馬一覧 (2024年12月～2025年2月分) 関係者の皆様、おめでとうございます。

(中央競馬)

- ・ニシノエージェント 牡3歳 京成杯 G III (2025/01/19・中京)
- ・サンデーファンデー 牡5歳 プロキオンSG II (2025/01/26・中京)
- ・ウォーターリヒト 牡4歳 東京新聞杯 G III (2025/02/09・東京)

(地方競馬)

- ・メイショウフンジン 牡7歳 佐賀記念 Jpn III (2025/02/06・佐賀)
- ・オーサムリザルト 牝5歳 クイーン賞 Jpn III (2025/02/11・船橋)

あ・と・が・き

- ★ 今冬の道内は、年明け以降、気温の高い日が多く、寒暖差も激しい状況が続きました。その影響で、一部地域では記録的な大雪となり、湿った重たい雪によりご苦労された方も多かったことと思います。BTC でも数年ぶりに多雪となり、高い気温による融解と凍結の繰り返しにより、日々の開場作業に苦慮する冬となりました。現在、屋外馬場の開場準備を進めており、これから本格的な調教が始まります。屋外馬場の開場後は、日程を調整しながらダートコースの砂厚調整などを順次行ってまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。(K. H.)
- ★ 今月はBTC 第42期生の修了式、そして第43期生の開講式があります。第42期生については何度も教官に叱咤され辛い研修日々の連続でしたが、これからはホースマンとして本当のスタートとなります。各々の就労先で活躍することを期待すると共に、各々の目標に向かって頑張ってくれることを願います。第43期生27名も今月より1年間の研修に励んでいく事となります。関係者のみなさまには牧場見学等でお世話になる事があるかと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。(K. S.)
- ★ 本年3月、JRAの定期人事異動で松尾雅洋専務がJRAに戻られ、堀光広教官がJBBAに異動されました。お二人の在職中のご厚意に深く感謝し、今後のご活躍を祈念しております。代わって、山下芳則専務兼場長(総務部長から昇格)、守山秀和総務部長、新原健伸教官がJRAから赴任されました。どうぞよろしくお願いいたします。(K. M.)

BTC ニュース 2025年(2) 第139号

※ BTC ニュースに関するお問い合わせ、配達先変更・配達中止のご連絡は、下記にて受け付けております。また、BTC ニュースはBTC ホームページからもご覧いただけます。

発行日: 令和7年4月1日

発行: 公益財団法人 軽種馬育成調教センター TEL 0146 (28) 1001 (代)

FAX 0146 (28) 1003 e-mail: kyoiku_fukyu@b-t-c.or.jp

〒057-0171 北海道浦河郡浦河町字西舎 528

編集責任者: 山下 芳則 編集: 小林 光紀 制作・印刷: 西谷印刷株式会社 〒135-0022 東京都江東区三好 2-1-4



HP



BTCニュース

フランス製 PVC 馬場柵

人と馬にやさしい馬場柵をお届けします



安全性、経済性を追求した紫外線にも強いPVC素材の馬場柵です

TÉKIDÉ

欧州と中東を中心に世界各地で40年以上の販売実績を持つフランスのPVC(ポリ塩化ビニル)馬場柵メーカー「エコファブ社(旧 Fornells 社)」の製品をご紹介します。

エコファブ社の馬場柵(TÉKIDÉ)は、凱旋門賞が行われるロンシャン競馬場でも採用されています。

 JRAファシリティーズ株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3丁目19番9号 ジオ八丁堀
TEL 03(6631)9007 FAX 03(6631)9017

GREEN Web
CHANNEL

GREEN
CHANNEL

BS234ch

絶・賛・放・送・中!!

グリーンチャンネルは中央競馬全レース中継をはじめ、
地方・海外競馬中継、展望番組なども放送中!

GREEN
CHANNEL ?
を見るには

スカパー! (BS234ch)、スカパー!プレミアム/光 (688・689ch)、J:COM、eo光テレビほか、全国のケーブルテレビ局、ひかり TV、au ひかりからご覧いただけます。また、グリーンチャンネル Web (マルチ会員 1,000 円税別/スマホ会員 500 円税別) で、外出先でもお楽しみいただけます。

グリーンチャンネルの視聴方法・番組内容に関するお問い合わせ
または、お客様コール 03-5620-3344(10:00~17:00 年末年始・祝祭日は除く)

グリーンチャンネル

検索

アスカル

競走馬専用
900g(30g×30袋)

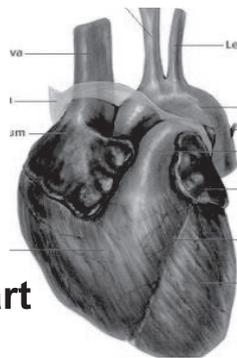
Astaxanthin & L-Carnitine

天然型アスタキサンチン
(ヘマトコッカス藻由来)

L-カルニチン



Muscle



Heart

- 品名:アスカル
- 規格:30g/アルミ袋
- 包装:900g(30g×30包)/化粧箱
- 給与方法:馬1頭1日あたり本品60g(30g袋×2回/朝夕)を慣用飼料に混合して給与する。
- 原材料名:米ぬか油かす、ヘマトコッカス藻抽出物(アスタキサンチン含有)、L-カルニチン。

※競走馬のスクミなど筋肉の障害、疾病の治療、改善を目的としてアスタキサンチンを含む飼料及びアスタキサンチンを馬へ与える特許は富士化学工業(株)が所有しております(特許第3660244号)



アスタリアル®は富士化学工業(株)の商標です。

技術提携先



富士化学工業株式会社
FUJI CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.



カルニキング®はスイスロンザ社の商標です。

Lonza

お客さま
窓口

株式会社岩崎清七商店 競走馬事業部 TEL 03-3201-1666 FAX 03-3201-0028
〒100-6309 東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル9階912区 <http://www.s-iwasaki.jp>
[北海道] 株式会社北海道ホースフィード TEL 0146-32-3106
JRAファシリティーズ株式会社 飼糧課 美浦TEL 029-885-2161 栗東TEL 077-558-0319